



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3474 URL http://g-fac.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 片平 雅之
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名) 田口 由香子 (TEL) 03(5325)6868
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,015	35.5	△3	—	△7	—	△6	—
2019年12月期第1四半期	749	2.9	63	△10.4	62	8.7	41	13.6

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △33百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 51百万円 (227.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年12月期第1四半期	円 銭 △1.04	円 銭 —
2019年12月期第1四半期	6.48	6.42

(注) 2020年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年12月期第1四半期	百万円 3,544	百万円 1,645	% 41.5
2019年12月期	3,758	1,678	39.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,470百万円 2019年12月期 1,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルスによる事業活動への影響が見込まれ、現時点では業績予想の算定が困難であることから、2020年2月13日に公表した業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただき、業績予想の算定が可能になった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期1Q	6,744,500株	2019年12月期	6,742,000株
2020年12月期1Q	300,000株	2019年12月期	300,000株
2020年12月期1Q	6,443,703株	2019年12月期1Q	6,422,944株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による施策を背景に企業収益や雇用環境の改善など緩やかな景気回復の兆しはあったものの、消費税率引上げ後の個人消費の減速、米中貿易摩擦問題や新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による世界的な景気減速から、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、人材採用関連コストの上昇、消費者の多様化による業種・業態を超えた企業間競争の激化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を甚大に受けており、経営環境は厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となるため、グループ間で顧客へのワンストップフォロー体制を進め、海外進出検討企業への海外サポートの基盤強化を行うとともに、国内事業の営業体制基盤の拡大のため、人材の採用、育成、環境の整備に注力してまいりました。

このような取り組みの中、当第1四半期連結累計期間においては、2019年3月に子会社化した株式会社M. I. Tの収益力の拡大を推進してまいりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受けて、海外及び国内の当社グループが運営する飲食店への来店客数の減少を受けております。また、飲食業界の先行きが不透明なことに伴い、顧客の出店ニーズの減退の影響が顕在化しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,015,990千円（前年同四半期比35.5%増）、営業損失は3,880千円（前年同四半期は営業利益63,453千円）、経常損失は7,410千円（前年同四半期は経常利益62,565千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6,688千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益41,639千円）となりました。

セグメントの経営成績の状況は次のとおりであります。

① 経営サポート事業

当第1四半期連結累計期間においては、海外及び国内事業の拡大を図るため、多店舗展開サポートを中心とした効率的な事業基盤拡大を推進してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により飲食業界の先行きが不透明なことに伴い、顧客の出店ニーズの減退の影響が顕在化し、新規顧客及び新規案件の獲得が伸び悩みました。

その結果、当セグメントの売上高は504,987千円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は59,138千円（同44.6%減）となりました。

② 飲食事業

当第1四半期連結累計期間においては、国内インバウンド需要への継続的な対応、中食需要の確保のため、宅配サービス業者の活用を継続するとともに、海外ライセンス店への食材卸事業を中心とした新たなストック収益基盤構築を図ってまいりました。また、2019年3月より株式会社M. I. Tを子会社化し、飲食事業に追加することで、収益力の拡大を推進してまいりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受けて、海外及び国内で当社が運営する「名代 宇奈とと」におきましては、営業自粛や海外観光客の減少に伴い来店客数が減少し、売上高が減少しております。

その結果、当セグメントの売上高は、511,003千円（前年同四半期比119.5%増）、営業利益は16,392千円（同49.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間の資産は前連結会計年度末より213,851千円減少して3,544,220千円となりました。これは主に、売掛金が14,015千円、割賦売掛金が25,870千円増加した一方で、現金及び預金が196,488千円、流動資産のその他が12,476千円、建物及び構築物が26,849千円、のれんが13,520千円減少したことによるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間の負債は前連結会計年度末より180,685千円減少して1,899,205千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が19,549千円、未払法人税等が29,545千円、流動負債のその他が69,403千円、長期借入金が51,784千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より33,166千円減少して1,645,015千円となりました。これは主に、利益剰余金が6,688千円、為替換算調整勘定が14,470千円、非支配株主持分が12,181千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年2月13日に公表いたしました通期の業績予想から修正をしております。詳細については、本日(2020年5月14日)公表の「2020年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,066,093	869,604
売掛金	24,909	38,924
割賦売掛金	5,454	31,325
リース投資資産	282,943	285,810
商品	26,480	24,669
その他	195,684	183,207
貸倒引当金	△10,786	△12,595
流動資産合計	1,590,779	1,420,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	852,779	825,929
その他(純額)	83,391	78,367
有形固定資産合計	936,171	904,297
無形固定資産		
のれん	229,841	216,320
その他	1,290	1,398
無形固定資産合計	231,131	217,719
投資その他の資産		
差入保証金	832,386	841,653
その他	217,962	209,397
貸倒引当金	△50,358	△49,792
投資その他の資産合計	999,990	1,001,257
固定資産合計	2,167,292	2,123,274
資産合計	3,758,072	3,544,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,053	64,537
1年内返済予定の長期借入金	224,846	205,297
未払法人税等	37,993	8,447
賞与引当金	—	8,742
その他	517,684	448,281
流動負債合計	857,578	735,307
固定負債		
長期借入金	508,433	456,648
長期預り保証金	582,495	592,671
その他	131,383	114,578
固定負債合計	1,222,312	1,163,898
負債合計	2,079,890	1,899,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	388,955	389,153
資本剰余金	332,900	333,098
利益剰余金	1,028,644	1,021,956
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	1,506,566	1,500,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203	△18
為替換算調整勘定	△15,333	△29,803
その他の包括利益累計額合計	△15,130	△29,822
非支配株主持分	186,745	174,564
純資産合計	1,678,181	1,645,015
負債純資産合計	3,758,072	3,544,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	749,864	1,015,990
売上原価	453,304	560,281
売上総利益	296,560	455,708
販売費及び一般管理費	233,107	459,588
営業利益又は営業損失(△)	63,453	△3,880
営業外収益		
受取利息	535	69
為替差益	3,089	—
助成金収入	—	2,404
持分法による投資利益	—	934
その他	687	1,223
営業外収益合計	4,312	4,630
営業外費用		
支払利息	417	995
持分法による投資損失	4,747	—
為替差損	—	5,958
その他	35	1,207
営業外費用合計	5,200	8,160
経常利益又は経常損失(△)	62,565	△7,410
特別利益		
固定資産売却益	3,500	222
受取和解金	5,680	2,306
特別利益合計	9,180	2,528
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	71,746	△4,881
法人税、住民税及び事業税	23,106	4,841
法人税等調整額	3,417	48
法人税等合計	26,524	4,890
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45,222	△9,771
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,582	△3,083
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	41,639	△6,688

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45,222	△9,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△222
為替換算調整勘定	6,227	△23,567
その他の包括利益合計	6,256	△23,790
四半期包括利益	51,478	△33,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,186	△21,381
非支配株主に係る四半期包括利益	6,292	△12,181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。